

希学園 第404回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小3算数 解説動画(2026年1月11日実施)	https://vimeo.com/1153112484/3cbo9a8188

1

(1)	920	(2)	421	(3)	25	(4)	228
(5)	113	(6)	992	(7)	9 (か月)	(8)	250 (mL)
(9)	69	(10)	7 (倍)	(11)	6 (倍)	(12)	4 (人)

2

(1)	17 cm	(2)	22 cm
-----	-------	-----	-------

3

(1)	19 日	(2)	7 月 2 日
-----	------	-----	---------

4

(1)	10 こ	(2)	30 こ
-----	------	-----	------

5

(1)	30 cm	(2)	20 cm
-----	-------	-----	-------

6

(1)	4 通り	(2)	12 通り
-----	------	-----	-------

1 (5) $89 + \square = 202$
 $\square = 202 - 89 = \underline{113}$

(6) $\square - 97 = 895$
 $\square = 895 + 97 = \underline{992}$

(7) $1\text{年}3\text{か月} = 12\text{か月} + 3\text{か月} = 15\text{か月}$
 $15 - \square = 6$
 $\square = 15 - 6 = \underline{9}(\text{か月})$

(8) $3\text{ dL} = 300\text{ mL}$
 $\square = 300 - 50 = \underline{250}(\text{mL})$

(9) $8 \times 7 = 56$ $\square - 56 = 13$
 $\square = 13 + 56 = \underline{69}$

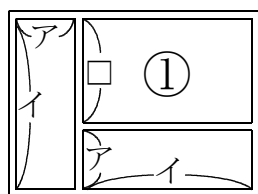
(10) $33 - 5 = 28$ $28 = 4 \times 7$
 よって、 $\square = \underline{7}(\text{倍})$

(11) $5 - 1 = 4 \cdots$ たての間かくの数
 $25 - 1 = 24 \cdots$ 横の間かくの数
 $24 = 4 \times 6$ より、横の長さはたての長さの6倍。

(12) $11 + 9 = 20$ (人) \cdots 国語が好きな人
 $20 = 10 \times 2$ より、国語が好きな人は10人。
 $20 + 10 = 30$ (人) \cdots クラスの数
 $30 = 15 + 15$ より、算数が好きな人は15人。
 $15 - 11 = \underline{4}$ (人) \cdots 算数だけ好きな人

2 (1) もんだい問題の図から、 $2 + \triangle + 2 + \triangle + 2 = 40$ (cm)
 $40 - 2 - 2 - 2 = 34$ (cm)
 $34 = 17 + 17$ より、 \triangle は17cm。

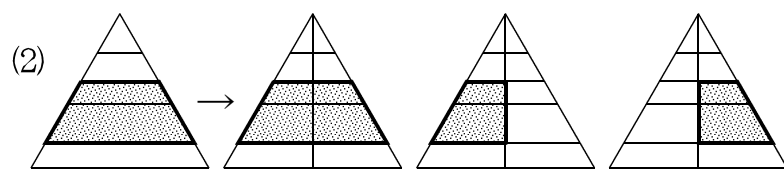
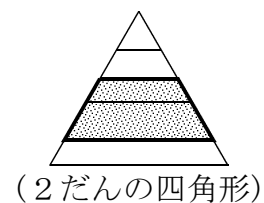
(2) 右の図で、イは、
 $40 - 2 - 2 = 36$ (cm)
 よって、アは、
 $54 - 2 - 2 - 2 - 36$
 $= 12$ (cm)
 \square は、 $40 - 2 - 2 - 2 - 12 = \underline{22}(\text{cm})$



3 (1) 日の数の方が多い \cdots 1月から12月までである。
 これは12日。
 月の数の方が多い \cdots 6月から12月までである。
 $12 - 6 + 1 = 7$ (日)
 よって、 $12 + 7 = \underline{19}(\text{日})$

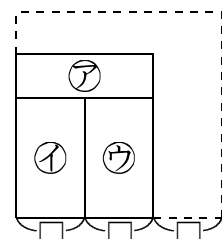
(2) (1)より、1月から5月までに5回あり、
 6月からは毎月2回ある。
 $8 - 5 = 3$ (回)
 $3 = 2 + 1$ より、7月の1回目。よって7月2日。

4 (1) だん数で場合分けをする。
 たとえば右の図は2だんの四角形。
 1だんの四角形 \cdots 4こ
 2だんの四角形 \cdots 3こ
 3だんの四角形 \cdots 2こ
 4だんの四角形 \cdots 1こ
 よって四角形は、 $4 + 3 + 2 + 1 = \underline{10}(\text{こ})$ ある。

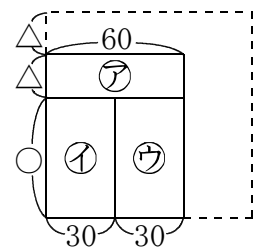


たて線によって、同じだんでも、四角形は1つから3つにふえる。どのだんでも、四角形1つが3つにふえることになるので、四角形は、
 $10 \times 3 = \underline{30}(\text{こ})$ ある。

5 (1) ①と㊦のまわりの長さが同じで、
 ①と㊦はたての長さが同じなので、横の長さも同じ。
 おり返す前の正方形を考えると、
 $90 = 30 \times 3$ より、
 \square は30cm。



(2) ㊦と①のまわりの長さが同じなので、たて+横も同じ。
 右の図から、
 $30 + \bigcirc = 60 + \triangle$
 $\rightarrow \bigcirc$ は \triangle より30cm長い。
 $90 - 30 = 60$ (cm) $\cdots \triangle$ 3つぶん
 $60 = 20 \times 3$ より、 \triangle は20cm。



6 (1) 3日間すべて、1校ずつ受験するとき。
 (CかD) \rightarrow E \rightarrow (FかG)なので、
 $2 \times 1 \times 2 = \underline{4}(\text{通り})$

(2) 1校目で場合分けをする。
 1校目がAのとき \cdots 2校目はFかGの2通り
 1校目がBのとき \cdots 2校目はFかGの2通り
 1校目がCのとき \cdots 2校目はEかFかGの3通り
 1校目がDのとき \cdots 2校目はEかFかGの3通り
 1校目がEのとき \cdots 2校目はFかGの2通り
 よって、 $2 + 2 + 3 + 3 + 2 = \underline{12}(\text{通り})$

(配点) ① ; 各5点 \times 12 他 ; 各4点 \times 10